

議 事 録 ① 殿	課長	課員	作成	発 行	番 号	No. 1 / 4
					年 月 日	2023年12月28日
					部 署	鯖江市 政策経営部 総合交通課

日時	'2023年12月27日(水曜日)	時 分 時 分 14:00 ~ 15:15	会議時間	時間 分 1時間15分
----	-------------------	--------------------------	------	----------------

会議名	令和5年度第3回 鯖江市地域公共交通活性化協議会	場 所	鯖江市役所 4階 全員協議会室
-----	-----------------------------	-----	--------------------

出席者	別紙(配席図)のとおり (計26名:事務局含む。随行者等除く。)	主管部署	鯖江市 政策経営部 総合交通課
		原紙保管	鯖江市 政策経営部 総合交通課
		記 録 者	総合交通課 林

項 目	議 事 内 容
-----	---------

1 開会	
2 会長挨拶	会長 佐々木市長より挨拶
3 協議事項	<p>◎協議第1号[令和5年度地域公共交通確保維持改善計画に関する自己評価について] 資料No. 1-1, 1-2, 1-3</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [資料No. 1-1, 1-2, 1-3]の内、資料1-1を自己評価資料として委員の方々に説明。 P1…当自己評価までの経緯。 P2…令和3年12月に策定した鯖江市地域公共交通計画を要約した資料。 鯖江市の目指す地域公共交通体系の姿を表している。 P3…昨年度および今年度当協議会が実施した具体的な取り組みについて、今回の自己評価資料では『④SNSを活用した情報発信の開始』および『⑤バス車内の掲示スペースをギャラリースペースとして活用』した事業を主に取り組んだ内容として報告する。 P4…『④SNSを活用した情報発信の開始』および『⑤バス車内の掲示スペースをギャラリースペースとして活用』の事業内容の詳細について説明。 P5…地域公共交通計画で定めている評価指標の目標値に対しての達成状況および考察の紹介。 P6…参考資料としてH30年度およびR3年度～R5年度つつじバス利用者実績について説明。 P7～P8…各評価指標の目標を達成するために今後行っていく取組みの方針について説明。 P9～P12…中部運輸局 第三者評価委員会にて過年度いただいた二次評価結果について共有および対応状況説明。 P13…当協議会の主な年間スケジュール。 P14…地域公共交通計画に記載の各事業の実施スケジュール。 <p>(福井県バス協会 小林委員)</p> <p>→P5に記載の評価指標の一つである利用者1人あたり公的資金投入額の目標達成に向けた取組みとして、P7に車両ラッピング広告の導入の検討とある。車両ラッピング広告の導入にあたり、どの程度の収入増加を見込んでいるのか。 また、コミュニティバス「つつじバス」というオリジナリティが出されているものに、ラッピングしてしまうとオリジナリティが無くなってしまわないか？統一感がなくなることなどの懸念もあり得策かどうかは検討していただきたい。 この指標の改善についていえば運賃改定という方法もあると思うが検討はされているか。</p> <p>(事務局)</p> <p>→全面ラッピング(前面除く)で年間50万円の広告料を想定している。広告にかかる費用</p>

項 目	議 事 内 容
3 協議事項	<p>については全て広告主負担で対応を行う。また、コミュニティバス「つつじバス」の独自性を活かす点から、新たに更新する小型バス5台および今年の4月に購入した中型バスについては車両ラッピングの対象としていない。運賃の改定については利用者の方々に100円/乗車が浸透しているため、運賃の値上げについては今のところ考えてはいない。</p> <p>(福井県バス協会 小林委員) →年間50万円の広告収入増加でどの程度指標については改善が見込まれると考えているか試算はされているか。運賃改定については議論を経て決定する部分ではあるが、物価高騰なども加味してどのような対応がベストであるかをしっかり議論していく必要があると考えている。</p> <p>(事務局) →運賃改定のことも含め、燃料など様々な物の値段や人件費は高騰している。バスだけに限った話ではないので、市全体の取組みとして検討していく。年間50万円の広告収入増加による影響については全体の事業費から考えるとさほど大きな効果があるものではないため、いただいた意見も含め検討をさせていただきたい。</p> <p>(三寺座長) →利用者増加に伴い、今年度の指標がどのような見込みになるか試算はされているか。</p> <p>(事務局) →見込み値については、今年度年間13.5万人の利用があった場合については、800円/人まで下がるものと試算している。</p> <p>(三寺座長) →車両ラッピング広告を導入する車両についてはどの時間帯を走るなど決まっているか。</p> <p>(事務局) →朝から夜まで1日走る車両であり、2台のうち1台については利用者が多い循環線をメインで走る車両となっている。</p> <p>(三寺座長) → 協議事項第1号について承認いただける委員の皆様は挙手をお願いします。</p> <p>～挙手全員～</p> <p>→ 委員の皆様承認とのことで協議第1号について協議が調ったこととする。</p>
4 報告事項	<p>◎報告第1号[鯖江駅東口等整備基本計画の見直しについて] 資料No.2</p> <p>(事務局) 資料No.2を基に鯖江駅東口等整備基本計画の再検討について説明。</p> <p>(三寺座長) →2年間の調査等を踏まえた上で令和8年に着手ができるという考えであろうか。</p> <p>(事務局) →令和8年度に計画作りが出来たらと考えているが、計画作り以外に既存駅舎の内装・外装の整備など基本計画を立てなくとも実施が出来ることに関しては調整が出来次第実施していきたいと考えている。</p>

項 目	議 事 内 容
	<p>(三寺座長) →また計画を再策定する際には、前回と同じようなプロセスで策定をしていく予定か。</p> <p>(事務局) →一番の想定は駅東口の改札口になってくるものと考えている。前回の計画策定時と同様、策定に向けた委員会の設置などはしていくことを考えている。</p> <p>(藤井委員) →色々な流動的な状況を基にこのような結果になってしまったのはやむを得ないと考える。前回の計画を策定するまでの検討委員会では、せっかく整備をするのだから様々な機能を加えながら駅を中心としたコミュニティの核を作ることが意見として多くあったなど感じている。これからは駅に必要なものをよく検討して時にはそぎ落としていくことも考えながら、その中で東口の改札が最も必要との意見が出てきた場合はそれを早めに行っていくのもよいのではと個人的に感じているところである。</p> <p>(三寺座長) →優先順位をどうしていくか、2年間の調査期間の中でしっかり考えていく中で3年目に計画を立て直すというプランで進めていってもらえればと考える。</p> <p>◎報告第2号[令和6年度つつじバスのダイヤ改正等について] 資料No.3</p> <p>(事務局) 資料No.3を基に令和6年度つつじバスダイヤ改正等の内容について説明。 主な改正内容については4点あり、①立待線「杉本バス停」の路線上での移動、②一部エリアでのフリー降車制の実証導入、③市内温浴施設との提携企画、④ハピラインふくいの鉄道ダイヤとの調整についての4点である。</p> <p>(三寺座長) →どれも利用促進に向けたよい取り組みだと感じるが、最も重要なのが④と考えている。詳細なダイヤについて1月早々となっているがいつ頃に発表が出来るか。</p> <p>(ハピラインふくい 佐々木委員) →1月早々ということで具体的な日付は決まっていないが、1月15日から順次利用者説明会を行っていくため、それまでには発表をさせていただく予定である。</p> <p>(福井県バス協会 小林委員) →②のフリー降車制については4月から実施ということで、利用者にとっての利便性向上についてはあるかと思うが、実際の運用の中で利用者の方が降りたいところで降りるとした時に、駐車場所の急な確保など乗務員の負担になったりしないか、運行事業者と運用方法をしっかり詰めてほしい。乗合バスの事故については車内事故が一番件数として多いものである。フリー降車制導入による急ブレーキなどにより、乗っている方の転倒に繋がることもあると思うので、運用の方法を安全面も含め検討してほしい。</p> <p>(事務局) →バスの運行事業者と十分協議した上で調整を慎重に進めていきたいと考えている。</p> <p>(三寺座長) →現時点で具体的な運用方法など決まっていれば教えていただきたい。</p>

項 目	議 事 内 容
	<p>(事務局) →検討しているのは急に停まってほしいという運転手の方々も困惑し、急ブレーキをかけてしまうことも想定しているため、乗車時に〇〇のところで降ろしてほしいと利用者側から事前に言ってもらうことで、安全にブレーキが踏める運用を行っていきたいと考えている。</p> <p>(三寺座長) →込み合った時間帯には対応が難しいこともあると思うので、その点も含めて運用の方法については検討をしていっていただきたい。</p> <p>(福井運輸支局 五十嵐委員) →③の市内温浴施設との提携について割引分の100円については施設側負担とあり、その代わりにA3サイズのチラシを車内掲示することなので、もし3施設の掲載をした際に余白があるようであれば、周辺の施設についても盛り込んで情報案内をするなどすると、つつじバスの利用者増加にも繋がると思うので検討をしていただきたい。施設利用料金の負担者ではないという点もあり難しいと思うが、可能なら盛り込むことを検討してほしい。</p> <p>(事務局) →バスの乗っていただくきっかけ作りとしたいと考えているので、周辺の公共施設の案内も含めてチラシの内容を考えていきたい。</p> <p>(三寺座長) →④の鉄道との乗継ぎについて、利用者が一目で分かりやすいリーフレットか何かをする予定か。</p> <p>(事務局) →R6.3末に市内全戸配布を行う、つつじバスの携帯時刻表(R6年度版)の中で鉄道⇔つつじバスの接続についても明示して分かりやすい時刻表を作成しようと考えている。</p>
5 その他	<p>福井運輸支局 五十嵐委員より、『旅客運送 2024 問題への対応』および『公共交通ってイイネ！中高生フォトコンテスト』について配布資料に基づき説明を実施。</p>
6 閉会	<p>三寺座長 → 以上で本日の議事は終了となる。第3回鯖江市地域公共交通活性化協議会を終了する。本日は慎重なご審議をいただき感謝する。</p>